

塩釜一中

テーマ学習通じ 夢実現へ



これがイチオシ

スローガン 行動後押し

学校の昇降口に掲げられている旗には「I'm possible 不可能を可能に変える」とあります。たった一つ加わるだけで、不可能が可能になるとの意味が込められています。みんながあきらめていたことも、たった一人の行動で可能になるのです。

小さな一歩が学校の大きな変革となり、ゆくゆくは地域の大きな躍進となることを信じ、私たちは一つ一つのことに全力で取り組んでいきます。「I'm possible」は、私たちの道しるべです。

学校名 塩釜市立第一中学校
所在地 塩釜市みのが丘3の1
創立 1947年
電話 022(362)1321
校長 遠山 勝治
生徒 358人

塩釜市立第一中学校では総合的な学習の時間で、各学年がテーマを持って学ぶ「うしおの光学習」を行っています。本年度の1年生は「関わる」をテーマに掲げ、地域の方から俳句や切り絵、絵手紙などを学びました。2年生は「求める」をテーマに、さまざまな職業について知るキャリアセミナーに取り組みました。3年生は「果たす」をテーマに、介護福祉施設の方から講話をいただき、地域貢献の大切さを学びました。

このうちキャリアセミナーでは、歯科医師や陶芸教室の先生など14種に及ぶ職業の方をお招きしました。海上保安官の方からは命を救った体験談を、投資家の方からは各国のマクドナルドのビッグマックの値段から為替レートを算定する「ビッグマック指数」の話などを聞けました。



キャリアセミナーで、さまざまな職業について学ぶ生徒たち

編集委員 村主美澤、丹治奏翔、鈴木天音、山口真央、高橋優(2年)吉田陽葵、桜井悠夏、平野蒼大、高橋あさみ(1年) 指導教員 佐々木敦

多様な職業体験談聞く

わが校わがまち スクール通信



次回は
2月6日に掲載します
女川小(女川町)
北仙台中(仙台市)

トコヤッサイ 全校一つに

志津川小

郷土芸能を家族と踊る

私たちの学校がある南三陸町志津川地区には、郷土芸能の「トコヤッサイ」という踊りがあります。誰でも気軽にできる踊りとして1996年に誕生し、町民に親しまれてきました。志津川小学校では運動会で、全校児童が家族と一緒に踊っています。練習は全校で行います。はじめは振り付けに慣れない低学年に、高学年がいてねいに教えます。本年度は運動会の2週間前に全校練習が始まり、全校が一つになるようにみんなで取り組みました。

家族と一緒にトコヤッサイを踊ったことで、町全体がこの踊りを大切にしていることが分かり、私たちがこれからも伝統を引き継いでいこうと思えました。



運動会当日、青空の下でトコヤッサイを踊りました

編集委員 小野寺紗羽、久保田悠月、佐々木空、佐藤あいら(6年)阿部永人、佐藤ひな、須藤万結、芳賀礼起(5年) 指導教員 渡辺一磨、大坂凌平



これがイチオシ

金管クラブ 地域励ます

志津川小では1976年に金管クラブが設置され、後に吹奏楽部となり、活動が行われていました。東日本大震災の時には、全国の皆さんから楽器などを届けていただきました。これまで支援してくださった方々の思いを大切に練習しています。

児童数の減少に伴い、本年度から金管クラブになりましたが、音楽で学校生活を豊かにし、地域の皆さんを勇気づけたい思いは変わりません。コロナ禍で活動の機会は減りましたが、素晴らしい伝統を受け継いでいきます。

学校名 南三陸町立志津川小学校
所在地 南三陸町志津川城場75の2
創立 1873年
電話 0226(46)3645
校長 工藤 吉則
児童 156人